



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが
住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議会議員控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



2つの施設を視察。勉強になりました。市政に生かしていきます

足立区～不登校生徒への支援、ICTの活用できめ細かく、町田市～療育活動を体験する新しい取り組み



日本最初の車いす専用バス。

市議会厚生文教常任委員会(8委員)は5月15、16日の2日間、東京都足立区の「子ども支援センター」と「子ども発達センター」を視察しました。「コロナ禍で3年ぶりの視察でしたが、現場を見学し、直接お話を聴かせて頂くことで、いろいろな気づき・学びを得ることができました。

個に応じた指導、の態勢

足立区「子ども支援センターげんき」では、「不登校児童・生徒への支援におけるICT活用について」を中心にお聴きしました。

ICT「Information and Communication Technology」は、情報通信技術と訳され、教育分野にも活用が広がっています。足立区では、区立小・中学校の児童・生徒1人1台のタブレット環境を整え、「個に応じた指導」や「わかりやすい授業」をめざしているとのこと。

細かく分類し対応

「子ども支援センターげんき」は、特別支援教育や様々な教育相談、子育て支援サービスや虐待防止への取り組みなどを行う施設で、データの紹介を交え、くわしくお聴きしました。

外出できる、できないも

また、不登校は外出できるかできないかと分類。外出できる児童・生徒は学校外施設(3か所)で相談と一体に学習指導や集団活動などを行うチャレンジ学級を設置。学校内

「ICTは次のステップづくり」タブレットの1人1台配備で、ICTを活用した学習支援を実施し、ひとり一人の児童・生徒の実態に応じた実践「ICTを活用した不登校児童・生徒への支援ヒント集」も作成されています。

「ヒント集」には、個々の状況と具体的な支援内容、成果と課題が掲載されていますが、「ICTだけで完結できないわけはありません。これまでつながらなかった児童・生徒とつながることができ、次のステップにいくことができるんです」との現場の所長さんの発言にとっても温かいものを感じました。

支援の方と一緒にICTで学ぶ姿、元の受入れについては、「医療的ケア児の保育所等受入れガイドライン」を策定され、現在公立保育所で2名、公立小学校で5名、指定管理者運営の学童保育クラブでは4名が在籍されているそうです。

「子どもの成長、発達の保障」2日間の視察では改めて、ひとり一人の子ども達の健やかな成長・発達を保障するためには、「子どもへの直接的な支援のほか保護者への支援や地域社会の受入れなど様々な関わりが大切だと痛感しました。川西市でもそれぞれの地域でいろいろな取り組みが行われています。さらに行政がしっかりと行っていく必要がある」と、いろいろな方々の知恵と力を結集していくこと。何より、子どもも大人も安心して住み続けることができる場所や地域の確保、構築が大切です。産まれた赤ちゃんは子どもになり、大人、高齢者になっていきます。だからこそ、誰もが住んでよかった、住み続けることができるまちづくりが必要です。「住民福祉の増進」という自治体の本質をこれからも追求していきます。

支援必要な子どもが増加

町田市では、「子ども発達センター」を視察。相談や療育の部屋、雨でも水遊びなどができる部屋や療育の実際を見学し、発達障がいをもつ子ども達への支援(相談体制、療育・訪問サービス、医療的ケア児や重症心身障がい児への対応、様々な研修会)の具

医療的ケア児対応強化

今年8月から、インクルーシブ社会の推進を図ることを目的に市内在学在住高校生が夏休み期間中に療育活動を体験する新しい取り組みがはじまるそうです。

また、児童発達支援事業で、FC町田ゼルビア(サッカーチーム)との協賛で、感覚過敏などを持つ子どもが家族が安心して観戦できるセンサリールームを設ける取り組みなどの工夫・展開をお聴きしました。

活用した学習支援を実施し、ひとり一人の児童・生徒の実態に応じた実践「ICTを活用した不登校児童・生徒への支援ヒント集」も作成されています。

今年8月から、インクルーシブ社会の推進を図ることを目的に市内在学在住高校生が夏休み期間中に療育活動を体験する新しい取り組みがはじまるそうです。

また、児童発達支援事業で、FC町田ゼルビア(サッカーチーム)との協賛で、感覚過敏などを持つ子どもが家族が安心して観戦できるセンサリールームを設ける取り組みなどの工夫・展開をお聴きしました。

予告 ...おいしくて安全な食料は日本の大地から... 「迫る食糧危機・日本の食料・農業政策の課題と平和について」 6月25日(日) 東谷公民館 朝10時~11時30分 中西頭治さん(能勢町・町議会議員、農民組合大阪府連合会事務局長) 実際にお米を作っている中西さん、いろいろな話を聴くことができます。ぜひ、ご参加ください。 黒田みちもお話します